

令和9年度（2027年度）

学生募集要項

外国人留学生特別選抜



公立小松大学

令和 9 年度（2027 年度）入学者選抜日程

外国人留学生特別選抜

Web 出願システム 事前登録開始日	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期限
令和 8 年 10 月 29 日（木）	令和 8 年 11 月 2 日（月） ～ 11 月 13 日（金）	令和 8 年 12 月 19 日（土）	令和 8 年 12 月 25 日（金）	令和 9 年 1 月 13 日（水）

目 次

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 募集人員	9
3. 出願資格	9
4. 選抜方法	10
5. 試験日時・試験時間・試験場	11
6. 出願手続	12
7. 受験票のダウンロード	14
8. 合格発表	14
9. 入学手続	14
10. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者との事前相談	15
11. 選抜情報の公表	15
12. 個人情報の取扱い	15
13. 初年度学納金等（予定）	16
14. お問い合わせ先	16
15. 試験場所在地等	17

1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

生産システム科学部 生産システム科学科

【求める学生像】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、地域と世界の産業に貢献しようとする次のような学生を求める。

（知識・技能）

1. 数学、物理など、ものづくりの仕組みを理解できる基礎学力を有し、機械、電気、電子、情報に関する知識や仕組みについて高い関心をもつ人

（思考力・判断力・表現力）

2. サステイナブル（持続可能な）社会の実現を目指し、未来の生産システムの構築に強い意欲をもって取り組める人

（主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度）

3. 豊かな教養と幅広い人間性を備え、地域社会の持続的発展に誇りと喜びをもって貢献できる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目に関する基礎学力

高等学校の教育課程で学ぶ数学と物理の知識は、科学的及び工学的な視点で現象を理解するために必須である。また、論理的に思考し、実験レポートや報告書を記述するための日本語力、国際的な視野で考え行動するために英語力が重要である。

2. 自ら問題を発見し、問題を解決する習慣

社会における様々な事象について、自ら問題を発掘・発見し、その問題を解決する姿勢や習慣が必要である。そのためには、生涯の自己研鑽が必要で、自ら進んで学ぶ習慣を身につけることが重要である。

3. 他者と連携・協働し、誠実に取り組む姿勢

通常、実験や実習は、複数人のチームで行うため、他者（共同実験者）と連携・協働して行う実践力及び誠実に取り組む姿勢を身につけることが重要である。

【入学者選抜の方針】

〔一般選抜（前期日程）〕

- 1) 大学入学共通テストでは、5教科（国語、数学、理科、外国語、情報）6科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、数学、理科を課し、理系の基礎学力を確認する。

〔一般選抜（中期日程）〕

- 1) 大学入学共通テストでは、4教科（数学、理科、外国語、情報）5科目を課し、基礎学力を評価する。

2) 個別試験では、理科を課し、基礎学力を確認する。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

1) 個人面接によって、数学、理科の基礎的な試問を含む多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

1) 大学入学共通テストでは、2教科（数学、理科）3科目を課し、基礎学力を評価する。

2) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由書は、面接試験の参考にする。

[外国人留学生特別選抜]

1) 日本留学試験（JASSO）では、日本語、数学、理科を課し、日本語能力及び基礎学力を評価する。

2) 個別面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。志願理由書、高校の成績証明書、外部試験スコア（日本語、英語）は、面接試験の参考にする。

保健医療学部 看護学科

【求める学生像】

本学科の設置の目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した3つのすべてを併せもつ学生を求める。

(知識・技能)

1. 看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力をもった人
(思考力・判断力・表現力)
2. 人々の営みや健康問題に関心をもち、看護師又は保健師として地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようと努力する人
(主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができ、様々な人々と協力できる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校で学ぶ諸科目に関する高い基礎学力

看護学は人々の命と健康を支える学問である。自然科学（生物、また化学、物理も学んでおくとうれしい）と、人の営みの理解につながる人文・社会の幅広い知識を積極的に学び、入学後に学習する生命の構造や機能、疾患のメカニズム、薬物の作用などを理解していくための基礎的な学力を備えておくことが求められる。また、看護は多様な人々との連携・協働が大切となるため、他者とのコミュニケーション能力と語学力につながる国語と外国語の学習が求められる。

2. 他者の価値観を理解し、協力する姿勢

保健・医療・福祉の実践はチームで取り組むため、他者の価値観を理解し、協力して取り組む姿勢が求められる。また、他者の価値観や立場を理解しながら、自身の考えを適切に伝えることができる力の基礎として、考えを整理し表現する習慣を身につけておくことが望ましい。

3. 主体的・論理的に探究する学習習慣

看護専門職として生涯にわたり主体的に学習を継続することが重要である。疑問を解決するために自ら進んで調べ、理解できるまで学習に取り組む粘り強い姿勢と、知識を獲得し深めるための学習習慣、及び知識を活用し論理的に考える習慣を身につけることが望ましい。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接（集団）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接（集団）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施する。
- 2) 面接（個人）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 3) 調査書、推薦書及び志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 学力のみでは測ることのできない多様性を備えた学生の確保を目的として実施する。
- 2) 大学入学共通テストでは、数学、外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 3) 個別試験では、面接（個人）を課して、医療・看護専門職業人をめざす者としての意欲や適性、人間関係能力等を評定し、それらを総合的に評価する。
- 4) 調査書、推薦書及び志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[社会人選抜]

- 1) 個別試験として、面接（個人）と小論文を行う。面接（個人）では、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価する。小論文では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、論述することを求める。
- 2) 調査書、志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[外国にルーツをもつ生徒を対象とした特別選抜]

- 1) 個別試験として、面接（個人）と小論文を行う。面接（個人）では、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価する。小論文では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について、日本語で論述することを求める。
- 2) 調査書、志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

[外国人留学生特別選抜]

- 1) 個別試験として、面接（個人）を行う。面接（個人）では、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価する。
- 2) 調査書、志願理由書は、履修状況・学業成績等を確認するための資料及び面接の参考資料とする。

保健医療学部 臨床工学科

【求める学生像】

本学科の教育理念及び教育目標に共感し、本学科を成長の場としたいと願う次のような学生を求める。

(知識・技能)

1. 臨床工学を学ぶための理数系科目の基礎学力と、医療に関する高い学修意欲を有する人
(思考力・判断力・表現力)
2. 医療及びその関連分野の事象や課題を論理的にとらえ、それらに対する自分の考えを表現できる人
(主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度)
3. 人の命に対して真摯に向き合い、病を抱える人の回復のために自らのもつ力を最大限に発揮して取り組みようとする人
4. 医療専門職の一員として、関連する医療職種を理解し、チーム医療や地域医療に貢献のできる資質を有する人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目の堅固な基礎学力
高等学校の教育課程で学ぶ理科と数学の知識は科学的な視点で事象を理解するために必要である。
また、国語と英語の能力は、社会の様々な情報の収集、発信、及び記述のために求められる。
2. 人間の生命や社会活動に関する事象を主体的・論理的に探究する姿勢
医療及びその関連領域において、課題に対処していくため、又は知識を深めていくために、自ら知識を収集し筋道を立てて考える姿勢が求められる。
3. 他者の価値観を理解し、常に温かな配慮をもって他者と接する姿勢
医療・保健・福祉の分野では、各医療専門職の連携（チーム医療）が、高度化・細分化した医療を適切に提供するために求められている。このチーム医療の観点から、他者と協働して物事に取り組む姿勢が重要となる。

【入学者選抜の方針】

[一般選抜（前期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について論述することを求める小論文を課して、医療又はその関連分野を学ぶための論理的思考力と文章表現能力を評価する。また、面接試験を課して、医療又はその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、理科、外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接試験を課して、医療又はその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価

する。

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 地域の優秀な人材を育て、磨き、地域社会へ輩出することを目的として実施する。
- 2) 調査書、推薦書、志願理由書の出願書類審査、及び面接試験により学習意欲や能力を総合的に判定する。
- 3) 面接試験では、医療又はその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、数学、外国語を課して、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、面接試験を課して、医療又はその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[社会人選抜]

- 1) 個別試験では、人間、社会、健康、自然科学等に関する課題について論述することを求める小論文を課して、医療又はその関連分野を学ぶための論理的思考力と文章表現能力を評価する。また、面接試験を課して、医療又はその関連分野に携わる者としての適性を総合的に評価する。

[外国人留学生特別選抜]

- 1) 日本留学試験（JASSO）では、日本語、数学、理科を課して、日本語能力と高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。
- 2) 面接（個人）により、医療又はその関連分野に携わる者としての適性と意欲及び日本語能力を総合的に評価する。

国際文化交流学部 国際文化交流学科

【求める学生像】

国際文化交流学科は国際的視野を身につけ、それを地域貢献に活かすことを目指す人文社会系の学科であり、本学科の教育理念及び教育目標に基づいて次のような学生を求める。

（知識・技能）

1. 高等学校の教育課程で学ぶ知識・技能を幅広く、かつ高いレベルで有している人
2. 異文化社会と地域社会の相互関係に常に関心をもち、情報分析や外国語などのスキルを向上させる意欲をもつ人

（思考力・判断力・表現力）

3. 社会の様々な課題について、知識や情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できる人
4. 知的探求心をもって広く社会に目を向け、柔軟な発想で物事を捉えることができる人
（主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度）
5. 良心と社会規範に従って、良識ある行動をとることができる人
6. 人々との交流を大切にし、常に温かな配慮をもって他者と接することができる人
7. 自らの成長のために粘り強く物事に取り組むことができる人

【入学までに身につけておいてほしいこと】

1. 高等学校の教育課程で学ぶ諸科目に関する基礎学力
高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について広く理解できていることを求める。
2. 他者とのコミュニケーションとリスペクト
異文化社会と関わっていくためのコミュニケーションの道具である言葉に関するスキルを磨くことはもちろん、自分と異なる「あたりまえ」に対するリスペクトをもつことは大切である。
3. 自分を取り巻く社会への関心
国際社会でいま起こっていること、あるいは自分の身近な地域が抱える問題などに日頃から関心をもって目を向ける習慣を身につけておくこと。

【入学者選抜の方針】

〔一般選抜（前期日程）〕

- 1) 大学入学共通テストでは、7教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報）より4教科5科目又は5教科5科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、小論文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・ 国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に関心をもち、自らの考えを明確にできるか
 - ・ 与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか
 - ・ 英文を読んで適切に理解することができるか

[一般選抜（中期日程）]

- 1) 大学入学共通テストでは、7教科（国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報）より4教科4科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個別試験では、小論文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・ 国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に関心を持ち、自らの考えを明確にできるか
 - ・ 与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか

[学校推薦型選抜（地域推薦）]

- 1) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由は、面接試験の参考にする。
- 2) 個別試験では、課題作文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・ 国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に関心を持ち、自らの考えを明確にできるか
 - ・ 与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか
 - ・ 英文を読んで適切に理解することができるか

[学校推薦型選抜（一般推薦）]

- 1) 大学入学共通テストでは、4教科（国語、地理歴史、公民、外国語）のうち3教科3科目を課し、基礎学力を評価する。
- 2) 個人面接によって、多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価する。調査書、推薦書、志願理由は、面接試験の参考にする。
- 3) 個別試験では、課題作文により、以下の能力や適性を評価し、選抜を行う。
 - ・ 国際問題や地域の問題など、身の回りで起こっていることに常に関心を持ち、自らの考えを明確にできるか
 - ・ 与えられた情報をもとに筋道を立てて論理的・分析的に思考し、自分の言葉で表現できるか

[外国人留学生特別選抜]

- 1) 日本留学試験（JASSO）では、日本語、総合科目、数学を課し、日本語能力及び基礎学力を評価する。
- 2) 出願書類及び個人面接により、勉学意欲、学修計画、学修継続可能性を評価する。

2. 募集人員

学部学科	募集人員
生産システム科学部 生産システム科学科	若干名
保健医療学部 看護学科	若干名
保健医療学部 臨床工学科	若干名
国際文化交流学部 国際文化交流学科	若干名

3. 出願資格

日本の国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く。）で、次の（１）～（５）に該当する者とします。

（１）以下のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者
- ② 外国における、12 年の課程修了相当の学力認定試験に合格した 18 歳以上の者
- ③ 外国において、文部科学大臣に指定された 11 年以上の課程を修了したとされる者であること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
- ④ 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者
- ⑤ 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEA レベル、国際 A レベル、欧州バカロレア資格を保有する者
- ⑥ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した者
- ⑦ その他、本学において個別の資格審査により上記の者と同等の学力を有すると認めた 18 歳以上の者

（２）日本の教育制度による中学校・高等学校の在学期間が無いが、通算して 2 年以内の者

（３）令和 8（2026）年 6 月に実施された日本留学試験（JASSO）を受験し、本学の各学科指定の成績以上の者又は、令和 8（2026）年 11 月に実施される日本留学試験（JASSO）を受験する見込みで本学の各学科指定の成績以上の者

※ ただし、各学科指定の成績が得られなかった場合は、不合格になります。

※ 各学科が指定する科目と成績は次の【日本留学試験（JASSO）の利用科目と必要成績】に記載のとおりです。

【日本留学試験（JASSO）の利用科目と必要成績】

学部学科	利用科目名	必要成績
生産システム科学部 生産システム科学科	日本語（聴解・聴読解、読解、記述）	指定なし
	数学（コース 2）	
	理科（物理）	

保健医療学部 看護学科	日本語（聴解・聴読解、読解、記述）	各科目及び日本語の各領域で平均点以上
	数学（コース2）	
	理科（物理・化学・生物から2科目）	
保健医療学部 臨床工学科	日本語（聴解・聴読解、読解、記述）	
	数学（コース2）	
	理科（物理・化学・生物から2科目）	
国際文化交流学部 国際文化交流学科	日本語（聴解・聴読解、読解、記述）	
	総合科目	
	数学（コース1）	

（4）以下資格のいずれか（複数可）の公式な成績証明書（日本語又は英語、あるいは両方）を提出できる者（令和6（2024）年4月以降に受検した資格に限る。）

学部学科	資格等名称と必要スコア等
生産システム科学部 生産システム科学科	日本語能力試験JLPT、TOEFL-iBT、TOEIC（L&R）、英検、GTEC（検定版・CBT）、IELTS（Academic Module）、ケンブリッジ英検
保健医療学部 看護学科	TOEFL-iBT 61以上、TOEIC（L&R）600 以上、英検準1級以上、GTEC（検定版・CBT）1140以上、IELTS（Academic Module）5.0 以上、ケンブリッジ英検B2以上
保健医療学部 臨床工学科	日本語能力試験JLPT、TOEFL-iBT、TOEIC（L&R）、英検、GTEC（検定版・CBT）、IELTS（Academic Module）、ケンブリッジ英検
国際文化交流学部 国際文化交流学科	TOEFL-iBT 61以上、TOEIC（L&R）600 以上、英検準1級以上、GTEC（検定版・CBT）1140以上、IELTS（Academic Module）5.0 以上、ケンブリッジ英検B2以上 ただし、以下の免除要件（a）～（c）のいずれかに該当し、かつ、本学指定の証明書類（ア）～（ウ）のいずれか（複数可）を期日までに提出した者については、英語外部試験スコアの提出を免除する。 □免除要件 （a） 英語を教授言語とする正規教育課程において、直近6年以上継続して履修した者（在籍・成績証明書等により確認できる者） （b） 英語が公用語である国・地域において、直近6年以上、英語で学校教育を受けた者（在籍・成績証明書等により確認できる者） （c） 本学が（a）又は（b）と同等の英語運用能力を有すると認めた者 □本学指定の証明書類 （ア） 成績証明書 （イ） 在籍証明書又は卒業証明書 （ウ） 授業実施言語（教授言語）が英語であることが確認できる資料（学校が発行する書類、学校概要〔School Profile〕等）

※ 生産システム科学科、臨床工学科においては、上記資格等に係るスコア等は求めません。

※ TOEFL-ITPとTOEIC-IP は、利用できませんのでご注意ください。

（5）合格した場合、入学することを確約できる者

4. 選抜方法

本選抜は、志願理由書、高等学校の成績証明書、日本留学試験の成績通知書、英語外部試験のスコア等の出願書類による審査及び以下の試験科目により勉学意欲や能力を総合的に判断します。面接の試験は日本語で行います。

なお、受験者が5名を超えた場合は、日本留学試験（JASSO）の成績の合計点が上位5名に個別試験を課し、6位以下の受験者は不合格とします。

学部学科	選抜方法	配点	内容等
生産システム科学部 生産システム科学科	日本留学試験 (JASSO) 日本語	450 点	日本語能力及び基礎学力を評価します。
	日本留学試験 (JASSO) 数学	200 点	日本語能力及び基礎学力を評価します。
	日本留学試験 (JASSO) 理科	200 点	日本語能力及び基礎学力を評価します。 素点 100 点満点を傾斜配点し、200 点満点とします。
	面接 (個人)	850 点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質を評価します。
保健医療学部 看護学科	面接 (個人)	200 点	多面的な質問を行い、勉学意欲と資質・適性を評価します。
保健医療学部 臨床工学科	日本留学試験 (JASSO) 日本語	200 点	合計点の素点 450 点満点を傾斜配点し、200 点満点とします。
	日本留学試験 (JASSO) 数学 (コース 2)	100 点	素点 200 点満点を傾斜配点し、100 点満点とします。
	日本留学試験 (JASSO) 理科	100 点	合計点の素点 200 点満点を傾斜配点し、100 点満点とします。
	面接 (個人)	800 点	医療又はその関連分野に携わる者としての適性及び日本語能力を総合的に評価します。
国際文化交流学部 国際文化交流学科	面接 (個人)	300 点	出願書類及び面接により、勉学意欲、学修計画、学修継続可能性を評価します。

5. 試験日時・試験時間・試験場

学部学科	試験日時	試験場
生産システム科学部 生産システム科学科	令和 8 (2026) 年 12 月 19 日 (土) 面接 (個人) 9 : 00 ~	栗津キャンパス
保健医療学部 看護学科	令和 8 (2026) 年 12 月 19 日 (土) 面接 (個人) 9 : 00 ~	末広キャンパス
保健医療学部 臨床工学科	令和 8 (2026) 年 12 月 19 日 (土) 面接 (個人) 9 : 00 ~	中央第 2 キャンパス
国際文化交流学部 国際文化交流学科	令和 8 (2026) 年 12 月 19 日 (土) 面接 (個人) 11 : 30 ~	中央キャンパス

(注) 試験の詳細は、受験票送付の際に通知します。

6. 出願手続

インターネットを利用したWeb出願により手続きします。

「Web出願手順の流れ」（本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項）を熟読の上、志願者情報の登録と入学検定料の納入を行い、Webから出力した書類等の出願書類を揃えて郵送してください。

（１）出願期間

令和 8（2026）年11月 2 日（月）～11月13日（金） ※ 期間内必着

出願書類の提出は、郵送（書留速達郵便又はEMS）のみとし、出願期間最終日の午後 5 時必着とします。出願期間後に到着した書類のうち、出願期間最終日の前日までの消印のある書留速達郵便に限り受理します。

（２）入学検定料

入学検定料 17,000円

「Web 出願の流れ_外国人留学生特別選抜」（本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項）を参照してください。また、振込手数料は志願者負担となります。

【入学検定料の返還について】

一旦受領した入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還には応じません。

ア 入学検定料を支払ったが、本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、17,000 円を返還します。

イ 入学検定料を二重に払い込んだ場合は、17,000 円を返還します。

ウ 入学検定料を 17,000 円よりも多く払い込んだ場合は、超過した金額を返還します。

※ 上記「ア」～「ウ」に該当する場合は、本要項の「14. お問い合わせ先」に記載された連絡先に、令和 9（2027）年 2 月 26 日（金）までに連絡してください。本学から該当者に入学検定料返還手続書類を送付します。なお、領収書は、返還手続の際に必要なになりますので、各自で大切に保管してください。

（３）郵送する出願書類

志願者は、次の出願書類を一括して折り曲げずに A 4 サイズが入る封筒に入れ、出願期間内に郵送（書留速達郵便又は EMS に限る。）してください。 ※ 本学窓口への持込みでは受理しません。

提出書類は、日本語又は英語で作成してください。日本語又は英語以外の言語で作成する場合は、日本語又は英語による翻訳文を添付してください。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがありますので、郵送前に必ず確認してください。また、**出願書類の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても、入学を取り消すことがあります。**

出願書類受理後はいかなる理由があっても書類の返却及び記載事項の変更には応じません。

※ 郵送された出願書類について、本学への到着の有無の問い合わせには応じません。日本郵便 Web サイトの「郵便追跡サービス」により志願者本人が確認してください。

【出願書類】

出願書類名等		説明事項
1	入学志願票	入学検定料の支払い後、A 4 判の書類の印刷が可能となります。
2	写真票	入学検定料の支払い後、A 4 判の書類の印刷が可能となります。 出願前 3 か月以内に、単身、無帽、無背景、及び上半身正面で撮影した、鮮明な志願者本人画像をアップロードしてください。補正等を行った画像は使用しないでください。
3	志願理由書	本学所定の様式に、志願理由をできるだけ具体的に日本語 500 字以内で記入し提出してください。様式（本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項）をダウンロードしてください。
4	住民票（写し）等	市区町村発行の「住民票の写し」（志願者本人の国籍・在留資格・在留期限等が明記されているもの）を提出してください。 短期滞在者や外国居住者等、住民登録をしていない者はパスポートの写しを提出してください。
5	高校の成績証明書・卒業証明書	入学資格に関わる出身高等学校の全期間の成績証明書と卒業（見込）証明書の原本を提出してください。なお、成績証明書に卒業の事項が記載してあれば、卒業証明書は不要です。日本語、英語以外の言語で作成されている場合は、翻訳文（志願者の翻訳で可）を添付してください。
6	日本留学試験の成績通知書又は成績確認書（写し）	令和 8（2026）年 6 月に実施された日本留学試験の成績通知書又は成績確認書の写しを提出してください。 令和 8（2026）年 11 月の成績を利用する場合は、成績通知書等に代えて受験票の写しを提出してください。 （注）本学の各学科指定の成績が得られなかった場合は不合格としますので、日本留学試験の結果が届き次第、直ちに、成績通知書等の写しを提出してください。提出書類に不正があった場合は、失格とします。
7	英語外部試験のスコア（写し）	本要項の「3. 出願資格」の（4）を参照し、英語外部試験のスコアの写しを提出してください。なお、原本を提出した場合は、返却しません。提出書類に不正があった場合は、失格とします。
8	A 4 サイズが入る封筒（1 枚）	出願書類を送付する際に必要となります。出願者が準備してください。入学検定料の支払い後、印刷が可能となる送付用宛名シートを貼り付けたものに 1～7 の書類をまとめて封入し郵送してください。 EMS で郵送する場合、送付用宛名シートは封筒に貼り付けせず、1～7 の書類とあわせて封筒の中に封入してください。

（注）提出書類（厳封された書類は除く）のうち、日本語又は英語以外の言語で作成されているものには、必ず日本語又は英語の翻訳文を添付してください。

7. 受験票のダウンロード

(1) 受験票ダウンロード通知メール

Web 出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信します。通知後に、Web 出願サイトからの受験票及び受験上の注意等のダウンロードが可能になります。個別試験の当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。

【通知メール送信日】 令和8（2026）年12月1日（火）

なお、通知メールが届かない場合であっても、出願が完了していれば、通知メール送信日以降に受験票をダウンロードすることができます。

令和8（2026）年12月3日（木）になっても受験票をダウンロードできない場合や、ダウンロードした受験票の記載内容に誤りがある場合は、本要項の「14. お問い合わせ先」まで連絡してください。

(2) 受験票の保管

受験票は、個別試験及び合格発表後の入学手続きの際に必要となりますので、大切に保管してください。

8. 合格発表

合格者の受験番号を本学ホームページで発表します。また、合否照会システムにより合否結果を確認することができます。合格者には、「合格通知書」を送付します。

【発表日時】 令和8（2026）年12月25日（金）午前10時
（令和9（2027）年1月7日（木）まで）

【発表方法】 公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/admission>
合否照会システム <https://www.gouhi.com/komatsu-u/>

※ キャンパス内掲示は行いません。また、電話による合否の照会には応じません。

9. 入学手続

インターネットを利用した入学手続きサイトにより手続きします。

入学手続きサイトは Web 出願サイト内にあり、Web 出願時と同様にマイページへログインが必要です。入学手続の詳細は、ログイン後の入学手続き申込一覧内の「入学手続要項」にてご確認ください。

「入学手続きの流れ」（本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項）を熟読の上、入学手続情報の登録と入学料の納入を行い、Web から出力した入学手続き書類等を揃えて郵送してください。

【手続期間】 令和9（2027）年1月4日（月）～1月13日（水） ※ 期間内必着

10. 受験及び修学上特別な配慮を必要とする者との事前相談

本学に入学を志願する者で、身体に障がい等があり、受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に本学に事前相談書を提出し、相談してください。

(1) **提出書類** 本学所定の事前相談様式(本学ホームページ トップ>入試情報>学生募集要項)をダウンロードしてください。参考書類がある場合はそれらを添付してください。

(2) **相談締切日** 令和8(2026)年11月20日(金)

(3) **相談先及び提出先** 公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町10番地10

電話 : 0761-23-6610

※月曜日から金曜日(祝日を除く。)の午前9時から午後5時まで

E-mail : nyushi@komatsu-u.ac.jp

11. 選抜情報の公表

(1) **出願状況**

出願期間終了後に、学部学科別の志願者数及び倍率を本学ホームページに公表します。

(2) **成績開示**

外国人留学生特別選抜については、個人成績の開示は行いません。

12. 個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護法及び学内管理規程等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜に用いた試験成績及び入学手続時に提出いただく身上書等の書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

(1) 入学者選抜及び入学手続に関わる業務

(2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務

(3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務

(4) 入学料減免、授業料減免、奨学生選考等の修学支援及び保護者会活動への支援に関する業務

(5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務

(6) 入学者選抜方法等における調査研究、分析業務

(7) 卒業(修了)生に対する学習成果等調査、同窓会活動への支援等に関する業務

(8) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

なお、上記業務での利用に当たっては一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者において行うことがあります。

13. 初年度学納金等（予定）

（１）入学料

423,000 円 ※ 納入した入学料はいかなる理由があっても返還しません。

（２）授業料

年間 585,800 円

（３）その他

① 実習費

年間 50,000 円（教育実習費：生産システム科学部及び保健医療学部）

実習費は、教育研究のための研究設備や実験、実習のための経費の一部となります。

実習衣、教科書代等は含まれていません。

② 保護者会費

20,000 円（年会費 5,000 円/年を 4 年間分一括納入となります。）

③ 同窓会費

10,000 円（終身会費）

④ ノート型パソコンの準備について

講義で使用するノート型パソコンを、授業開始時までには自費で準備していただきます。詳細は、入学手続きサイトにより通知する入学手続要項で確認してください。

14. お問い合わせ先

日本時間の月曜日から金曜日（祝日を除く。）の午前 9 時から午後 5 時の間に、以下までお問い合わせください。

公立小松大学 学生課入試係

〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10（中央キャンパス）

電話：0761-23-6610 E-mail：nyushi@komatsu-u.ac.jp

【不測の事態が発生した場合の情報提供について】

不測の事態により試験時間等を変更する場合は、本学ホームページに随時情報を掲載しますので、受験直前は、特に注意して確認してください。

公立小松大学ホームページ <https://www.komatsu-u.ac.jp/>

15. 試験場所在地等

(1) 公立小松大学 中央キャンパス こまつアズスクエア2・3階

【所在地】 〒923-0921 石川県小松市土居原町 10 番地 10

【アクセス】 小松駅から徒歩約 1 分

【実施学部学科】国際文化交流学部 国際文化交流学科

(2) 公立小松大学 中央第2キャンパス ウレシヤス小松4階

【所在地】 〒923-0868 石川県小松市日の出町一丁目 100 番

【アクセス】 小松駅から徒歩約 1 分

【実施学部学科】保健医療学部 臨床工学科

(3) 公立小松大学 末広キャンパス

【所在地】 〒923-0961 石川県小松市向本折町へ 14 番地 1

【アクセス】 小松駅から路線バスで「市民病院」下車（所要時間約 5 分）、
徒歩約 5 分、小松駅から徒歩約 25 分

【実施学部学科】保健医療学部 看護学科



(4) 公立小松大学 栗津キャンパス

【所在地】 〒923-8511 石川県小松市四丁町ヌ 1 番地 3

【アクセス】 栗津駅から徒歩約 12 分

【実施学部学科】生産システム科学部 生産システム科学科

